

第3学年1・2組 総合的な学習の時間学習指導案

単元名：まちづくり学習

～ 育った“まち”への恩返し ～

本単元で育成を目指す資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・協働性】

指導者 黒田 明美, 玉井 孝明

日時 令和3年10月6日(水) 5・6校時
場所 3年1・2組教室
学年 第3学年(男子23名 女子25名 計48名)

単元について

○単元観

本単元は、本質的な問い「わたしたちは、どのように地域と関わりながら生きるか。」を基に構想した。「呉市が抱えている課題」について意見を出し合い、インターネットで調べた上で、「呉市の発展」を自分事と捉え、「わたしたちにできること」という視点から、自らの課題を設定し、解決していくことを通して、本中学校区で設定した資質・能力【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体性・協働性】を育成することをねらいとしている。

本校では、1年次に「ものづくり」を探究課題に設定し、仁方の産業であるやすりを使った文鎮づくり、呉の産業である造船所の見学、広島産業としてもものづくりフェスタに参加して、ものづくりの面白さや必要性について学習している。2年次には「ひとづくり」を探究課題とし、職場インタビュー学習を通して、働くことの意味や働く人の夢や願いを知り、SDGsや未来の仕事を考える学習を通して、未来の社会に必要な仕事や人材について学習している。

本単元では、社会科で学習した少子高齢化社会の現状を通して、生徒が、少子高齢化の課題が呉市でも深刻になっていることやその対策について自分の考えをもてるように展開していく。また、1学期に行う島根・鳥取の修学旅行で学んだ地域の特性を活かしたまちづくりや、行く予定だった大阪・京都の事前学習で学んだまちづくりを踏まえ、魅力あるまちづくりについて来場者の立場や気持ちになって考えさせていく。これらの活動を通してより多様な課題を発見させることで、「わたしたちにできること」を考えさせ、実行するための計画・経費等・効果を相手に分かりやすくプレゼンし、相手に自分の思いを伝えるときに大切なポイントに迫らせたい。このような学びの姿は、授業者が設定した本質的な問いを基にした探究的な学びを具現化するものであり、本中学校区で設定した資質・能力の育成につながると考える。

○生徒観

本学年の生徒は、総合的な学習の時間の学習に非常に興味・関心をもって進んで取り組んでいる。特に縦割り表現活動においては、昨年からの縦割り集団のリーダーとして活動することができた。オリジナルソーランを考えるために自主的に朝早く登校して話し合いをしたり、自分たちで考えた隊形移動を後輩に分かりやすく伝えたりする経験をしている。また、縦割り合唱では、パート毎にタブレットで録音したり、話し合いの時間を短縮したりするためにクラスルームやJamboardを活用するなど、タブレットを使った活動にも慣れてきている。いずれの縦割り活動についても、生徒の事後アンケートの肯定的評価は100%で、仁方中の伝統を引き継ぎ・発展させたい、よりよいソーラン(合唱)をつくり、感動させたいという思いは非常に強い。しかし、ソーランリーダーや各パートリーダーなど特定の生徒にしか力が付いておらず、面接指導や自己表現カードを見ても、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることに課題がある生徒が多い。

○指導観

指導に当たっては、次の2点に留意する。

【探究的な学びにつながるもの・ひと・まちの活用】

1年次の「ものづくり」で学習した地域の特産という視点、2年次の「ひとづくり」で学習した地域の企業や職種、SDGsの視点、そして本単元で学習する「まちづくり」の視点で総合的に呉を元気にさせる方策を考えさせる。

【自分の考えを伝え合い、他者を評価し、より良い発表を考える場の設定】

単元を通して、本質的な問い「わたしたちは、どのように地域と関わりながら生きるか。」を意識させ、新しい課題を発見しながら自分の生き方を考え行動につなげていけるよう単元を構成し

ていく。その過程で、呉の現状や課題を様々な方法で収集する課題発見・解決力や、調べた情報の真偽を実際に働いている人などに確認するための計画性やコミュニケーションスキル、そして自分の方略を人に伝えるプレゼンテーション能力を高めていきたい。

単元の目標及び評価規準

【単元の目標】

ここまで大きく育ててくれた地域（呉市）への感謝の気持ちを、呉市の発展をテーマに問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する活動を通して、主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら積極的に社会に参画しようとする事ができる。

【評価規準】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
① 呉市の課題や他市町のまちづくりについて理解している。 ② 自分が考えた課題を解決することによってSDGsのどの目標の達成につながるか理解している。	① 収集した情報を根拠に基づいて取捨選択し、呉市の現状を的確に把握している。 ② 自分達が考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表している。 ③ 他者からの意見・評価を踏まえ、自らの意見を適切に修正している。	① 社会の一員であることを自覚し、地域に貢献できることを考え、積極的に行動しようとしている。 ② 探究活動に進んで参加し、協働的に表現活動をしている。 ③ 異なる意見を取り入れながら、さらに知りたい調べたいと考えている。

指導と評価の計画

本時は 17・18時間目 (全18時間)

次(時)	学習内容	評価	
		評価規準(評価方法)	資質・能力
一 (5)	課題の設定 ○ 「大きく育ててもらった呉市」への恩返しを考える。(1時間) ・学習の流れの確認 ・学習目標ルーブリックの確認 ・課題予想	・「まちづくり」に着目し、課題を発見し、解決に向けての見通しをもっている。 (ワークシート, 発言)	知識・技能① 主体性・協働性①
	情報収集・整理・分析 ○ 前時で予想したことは正しいか検証する。(3時間) ・インターネット調べ学習 ・インタビュー学習 ・課題の分類	・呉の課題についてインターネット等で調べたことを、ワークシートに整理している。 ・出てきた課題とSDGsの目標を見比べ、どの目標の達成に貢献できるか理解している。 (ワークシート, 発言)	知識・技能①② 思考力・判断力・表現力①
	新たな課題の設定 ○ 分類した課題から一つ選び、課題解決のための方策を考える。(1時間)	・課題解決のための方策と達成のための手段を考えている。 (ワークシート, 発言)	知識・技能①②

【単元を貫く課題】大きく育ててもらった呉のまちが活性化するためにどんなことが出来るか。

【単元を貫く課題】大きく育ててもらった呉のまちが活性化するためにどんなことが出来るか。

<p>二 (8)</p>	<p>情報収集・整理・分析・まとめ</p> <p>○ 選んだ課題でグループ分けをして、グループの中で自分の考えた方策を交流し、グループで担当を振り分け、課題解決のための方策を考える。(7時間)</p> <p>表現・実行・振り返り</p> <p>○ クラス内でプレゼンテーションを行い、各グループが評価をし合う。(1時間)</p>	<p>・個人で考えた方策をグループ内で発表し、役割や内容について分析し、主体的に役割を決めている。(ワークシート, 発言)</p> <p>・自分達の表現をどのように工夫すれば、思いを伝えることができるか、グループや全体で話し合い表現に生かしている。(ワークシート, 発言, 演技)</p>	<p>知識・技能①② 思考力・判断力・表現力② 主体性・協働性②</p> <p>思考力・判断力・表現力②</p>
<p>三 (5)</p>	<p>新たな課題の設定・整理・まとめ</p> <p>○ 前時で他者からもらった評価を基に、プレゼンテーションを改善する。(3時間)</p> <p>表現・実行・振り返り</p> <p>○ 学年でプレゼンテーションを行い、各グループが評価をし合う。【本時】(2時間)</p>	<p>・他者からの評価を基に、さらに調べたいことを考え、自分達のプレゼンテーションの改善に活かそうとしている。(ワークシート, 発言)</p> <p>・自分達が考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表している。</p> <p>・他者からの意見・評価を踏まえ、自らの意見を適切に修正している。(ワークシート, 発表)</p>	<p>思考力・判断力・表現力③ 主体性・協働性②③</p> <p>思考力・判断力・表現力②③</p>

本時の展開

(1) 本時の目標

グループで考えた解決方法を相手に分かりやすく、論理的に伝えることができる。

(2) 本時の評価規準

自分達が考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表している。

他者からの意見・評価を踏まえ、自らの意見を適切に修正している。

【思考力・判断力・表現力②③】

(3) 学習の展開 (第17, 18時/全18時間)

分	学習活動	指導上の留意点	評価
5	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>グループで考えた解決方法を相手に分かりやすく伝えよう。</p> </div>		

40 10 35	2 グループ毎に発表を行う。 (1グループ6分×7=42分) 3 1組の発表が終わったら振り返りを行い、休憩後、2組の発表に移る。 4 グループ毎に発表を行う。 (1グループ6分×6=36分)	・感染症対策として Google Meet を使ってプレゼンを行う。	
主発問：呉を元気にするためにわたしたちができることは何だろう。			
10	5 2組の発表が終わったら振り返りを行い、まとめを行う。	・クラスでの発表会の振り返りからも考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達が考えた方策と達成のための手段を分かりやすくまとめ、発表している。 ・他者からの意見・評価を踏まえ、自らの意見を適切に修正している。 <p>【思考力・判断力・表現力②③】 (ワークシート、発表)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉の課題を解決する方法はたくさんあるのだと分かりました。 ・今回の学習を通して、自分達でも出来る「まちづくり」はたくさんあって、この中の方策を行うことでSDGsの目標も達成できるのだと感じた。 ・中学校を卒業したら仁方から出て行くことになるけど、ふるさととの関わり方は様々だと感じた。卒業しても恩返しを忘れないようにしたい。 </div>			

《成果》

【知識・技能】

- ・どのグループの発表もSDGs 17の目標を意識したものになっていたのので、生徒の振り返りにも自らの生活を改めることで目標の達成につながるという記述が見られた。

【思考力・判断力・表現力】

- ・呉市の課題を発表する際に、その根拠となるデータを提示する班があった。社会科で学習したことが実際に呉でも起きていることを、根拠をもって説明することができた。

【主体性・協働性】

- ・グループで資料を作る際に、指示をしなくても役割分担しながら資料を作ることができた。
- ・ロイロノートや Google Meet を2画面で表示したりしながら資料を作ることができ、その後の行事でもICTを効果的に活用する生徒が増えた。
- ・アンケート項目「今後もふるさとに貢献したい」の肯定的評価は、97.9%であった。

《課題》

【主体性・協働性】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、課題の調査のためのフィールドワーク等を行うことができなかった。実際に行かなくても電話等で話を聞くことはできたのではないか。
- ・課題解決のための方策では、予算の見積りに信ぴょう性や根拠のないものもあった。どの業者で材料を買うのか明確にさせる必要があった。
- ・夢議会を目標としていたので、予算がないと実行できない提案ばかりだった。費用対効果を示したり、予算がなくても実行できる提案にすれば、実行・改善までを学習できる内容になる。